

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



### 社会福祉法人 小羊学園

〒433-8105 静岡県浜松市北区三方原町 2709-12  
電話：053-584-3337 FAX：053-585-8488  
E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp  
H.P http://www.kohitsuji.or.jp/  
発行人：稲松 義人  
印刷所：SRS株式会社  
定 価：一部 30円

2016年9月20日  
第400号

私が当時の山浦理事長からつのはえの編集を指示されたのは119号からで、この一面を担当するようになったのは山浦理事長が急逝された直後の171号から。226号から現在のA4版に変更し、私が浜松南エリアの事業責任者となったあと、314号から現在の古橋誠氏に編集の担当をお願いしている。ふり返ってみると、節目を意識して何かの転換点にしたわけではないが、200号と300号をあらためて見てみると、いずれも文章の中で節目を迎えたことに触れていた。

私は、戦後の日本の社会福祉は金銭的給付と福祉施設でのケアを中心に進められてきたと思っている。障害のある人たちのケアをするのは、福祉施設の役割であり、ケアが必要な人が多ければ施設を増やす。そのイメージは今も根強いのではないかと感じている。昔も今も地

域の人たちの多くの方たちは善意の方たちだと思っている。現に小羊学園の歴史はそれらの人たちに支えられてきたことを50周年でも強く思わされたところである。しかし、その善意は、苦労して運営をしてきた小羊学園や小羊学園が施設の中で取り組んできたケアに向けられてきたのではないだろうか。ひょっとすると、私たちは、地域の人たちに、小羊学園の理解者になっていただくことを求め、障がいのある人たちの理解者になつていただけるような働きかけを十分にしていなかったのではないかと、反省しなければならない。

4月には小羊学園創立50周年をお祝いしたところだが、今回、機関紙のつのはえが400号となった。節目として捉えるのか、単に通過点なのか、スポーツ選手の通算記録でも区切りのいい数字になると、よくメディア等からコメントを求められているのを目にする。400号だからと言って何か特別な内容を考えてわけではなく、今回は、編集担当から400号ですよと言われて気づいたくらいであった。

さて、相模原市の障害者施設での痛ましい殺傷事件から2ヶ月が過ぎた。福祉施設としては、日頃からの安全管理について見直しを迫られることになったが、メディアの論調を見ると、多くは、優生思想への危惧を訴えているようだ。障がいの重い人々を隔離して守るのではなく、日頃から交流し、周囲の人たちがもっと理解しなければならぬのだと主張している。だとすると、私たち障害者福祉に携わってきた者の反省は、もっと地域の人たち、これまで障がいの重い人々とほとんど接点のなかったような人たちに、理解者になってもらう努力を果たしてどれ位してきたのかということになる。つのはえを編集してきた目的も、本来は、そこであったはずではなかっただろうかと思ってしまう。

新しい事業のための土地を小羊学園が自ら苦心してさがすのではなく、そこは市民に提供してもらいましょう。そして、私たちと一緒に、障がいのある人たちを地域(まち)で支えていきましょうという呼びかけ(4面参照)の思惑もそこにあります。

### 市民の善意を結集して つのはえ400号に寄せて

理事長 稲松 義人

### 小羊学園を支える会 総会開催



平成28年度小羊学園を支える会総会が、8月20日(土)に支援センターわかぎ会議室で行われ、キリスト教関係者や家族会、元職員など23名が出席されました。総会では、支える会規約の改定、前代表であった小林牧師の後任会長選出、運営委員の選出、これからの支える会のあり方など提案があり、これらを受け運営委員として先の方々が選出されました。

障がいのある方の生活支援では、住居の整備が必要です。三方原スクエアや支援センターわかぎのような、入所施設の整備は国の方針で今後作らず、地域の中で小さな単位で暮らすグループホームを推進しています。小羊学園としては、グループホームの整備を検討していますが、土地の確保で躓いているのが現状です。施設整備の財源が厳しい現状ですので、土地を購入できるゆとりがありません。読者の方やお知り合いで、休閑地等を無償で貸与くださる方がおられましたら、ぜひご紹介下さい。

- 候補地(希望エリア) 浜松市南区・浜北区
- 土地条件 100坪〜300坪程度 宅地/農地/雑種地問わず 隣接して6m道路 電線・水道管近くにあれば◎
- 貸与条件 無償(または安価) 社会福祉事業への無償貸与であれば、固定資産税免除 貸与期間、30年以上 施設整備の借入金償還後に土地買い上げ交渉可能
- 窓口 小羊学園法人本部 稲松・福地 053・584・3337

### わかぎ秋祭り

- ◆日時：平成28年10月23日(日) 10時〜
- ◆ところ：支援センターわかぎ 浜松市浜北区平口5042
- ◆催し物：フリーマーケット・模擬店・喫茶店 フラダンス・浜北吹奏楽団・ゴスペル

\* 模擬店の売り上げは、熊本地震被災地へ義援金として寄付します

### 第8回 小羊学園ふれあい運動会

- ◆日時：平成28年10月14日(金) 10時〜
- ◆ところ：浜北グリーンアリーナ
- ◆競技：徒競走・パン食い競争・玉入れ 綱引き・施設対抗リレー他

○問合せ 小羊デイケアホーム TEL 053-438-1498

### 小羊学園を支える会

2016年度 寄付金報告  
8月 受付分 371,000円(20件)  
累計 2,192,000円(130件)  
小羊学園への寄付金振込み先  
郵便振替口座 00800-8-107785  
口座名義 社会福祉法人小羊学園  
ゆうちょ銀行 089店 当座預金0107785  
口座名義 社会福祉法人小羊学園  
ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。  
小羊学園を支える会事務局(鈴木)  
小羊学園法人本部 ☎053-584-3337

### 編集後記

今号で「つのはえ」は400号を迎えることができました。私が、編集を前編集者の稲松理事長から引き継いで8年目になるが、このつのはえの紙面構成で意識していることがある。それは、単に法人や施設の報告ではなく、社会福祉のあり方や実践、ソーシャルアクションにつながるメッセージの発信である。それ故堅苦しい文章や内容もあるかもしれないが、それを善しと評価いただける読者も多い。障害者福祉や地域福祉を思慮し、問いかけ、実践する紙面であり続けたい。食欲の秋到来です。食べ過ぎだけにはお気を付けてください。

(F)



## つばさ静岡のリハビリ 機能訓練の実践

「遊びリテーション」

つばさ静岡 医務課長 村上哲一

この言葉は私がリハビリの専門学校時代に新しい言葉として紹介されました。20年以上前に理学療法士が考えたのですが「遊び」と「リハビリテーション」を合わせて作った言葉です。

もともとは高齢者に対するリハビリとして紹介されたもので、楽しい、もつとやりたい、すごいねと言われてうれしいなど、そういう気持ちや夢中になることを利用して本人は遊んでいるだけで、リハビリを行なうことと同じような運動をしており、更に夢中になると疲労を感じずリハビリ効果が倍増するという考え方です。これは年齢を問わず同じ効果があるものです。例えば、社会復帰などのしつかりした目標のある方の場合も多少辛いリハビリだとしても乗り越えられるかもしれませんが、重度の障害を

持った方や目標がしっかりと自分で持てない方にとっては、辛いリハビリの時間は苦痛でしかなく、達成感などほど遠いものでしょう。このような場合、遊びリテーションで楽しみながら夢中になってリハビリを行なうことはとても有効な方法です。つばさ静岡の場合は重度な障害を持った方ばかりですので、遊びリテーションの考え方を取り入れていきます。

もう一つ大切にしていることは、遊びリテーションとつながりますが、「安楽」なことです。リハビリ、機能訓練というと痛い、疲れる、大変などのイメージがあるかもしれませんが。今ではその痛みや苦痛が逆に更に筋肉を強張らしてしまったり、苦痛な姿勢が身体を捻らせ変形を進めてしまったりという考えが広まってきています。

遊びリテーションを行なおうと思っても、遊んで夢中になること、楽しめることが大切です。そのためには楽しめる余裕が必要になってきます。この余裕は安楽というところから生まれてくると考えています。

この楽しめる余裕ということについて説明します。例えば呼吸が苦しい場合、想像できるでしょうか？ 普段何気なく呼吸していると思いますが、息を吸おうと思っても上手く吸えないという状況を。そのような状況の中で遊んでも楽しいと感じるところが苦しいわけです。

来なくなり、体重も増加し、悪循環を繰り返し、だんだんと重力による負担が増え、座位を保つことさえもままならなくなりました。

スパイダーを用いることで、頭や上体を起こして座位を楽にとることができ、本人が元々好きであった人の動きを見て追うこと、おもちゃの音のする方向を自由に見ることが軽々と出来ました。出来なくなってきた動きが出来たことに職員が喜び称賛した声で、本人の表情も得意げな顔つきに変わり、何度も同じ動きをやってみせてくれました。

このように、スパイダーを通し、達成感、満足感、楽しさから得られる自信が、遊びリテーションや生活に結びつくようにリハビリを行なっています。



「つばさ静岡の作業療法」

作業療法士 星川 望

今回、赤い羽根共同募金に「DON DON IKOO」の購入を応募させて頂きま

周囲で何をやっていても興味すら湧かないでしよう。

痛みも同じです。痛みの理由は色々ありますが、リハビリの中では装具や車椅子での姿勢矯正、変形予防のための治療方法があります。姿勢を矯正するとその関節周囲の筋肉、靭帯などの全部の組織を引き伸ばすことになり、徐々に痛みとなります。この痛みが気になると楽しいことをしても楽しめませんね。

この楽しいことを楽しめる余裕を確保するためにリハビリスタッフは日々奮闘しているわけです。

日常姿勢のなかで、呼吸が楽にできる姿勢を試行錯誤し、その姿勢を安定して提供出来るように一人ひとりに合ったクッションを作製することも行っています。呼吸が楽になり、姿勢も矯正せず安定し、落ち着くと多くの方はリラックスして力が抜けてきます。やっそここから機能訓練、いや遊びリテーションですね。

リラックスしている状態は関節周囲の筋肉が緩み関節が伸びやすくなるので、日常の中で安楽な姿勢をとることが変形予防の第一歩になりますし、さらに無理な筋肉の強張りがなくなり、ご本人の意図した運動を引き出しやすくなります。自分の意図した運動で楽しいことが出来たり、すごいねと褒められると嬉しく動きたくなります。という具合に繋がっていきます。これがつばさ静岡のリハビリが目指しているところです。

した。DON DON IKOOは台車に電動の車輪が付いた電動車椅子のようなもので、台車に乗せるだけで自分の車椅子が簡単に電動車椅子になるものです。操作レバーで前後左右に動かすことができ、各方向をスイッチでの作動に変更することが出来ます。

重症心身障害を持った方達との作業療法は、生まれつき、または生活の途中で重い障害を持った方を対象としており、生活を「質的」にどれだけ満足できるか・楽しそうになるかということが大きく関わっているのではないかと考えています。多くの重症心身障害を持った方達からはつきりと「〇〇がしたい」といった要望が聞けなくても、遊びや活動に参加することで心が満たされ、笑顔が見られたり筋緊張が緩むこと、睡眠がとれるようになることなどの二次的な効果が望めると思います。

つばさ静岡では、楽しいという感情に伴って身体を動かすことができるという「遊びリテーション」を利用者さんと行っています。DON DON IKOOは、まさに「遊びリテーション」の考えにぴったりと当てはまる最高の道具でした。DON DON IKOOを使用した際に、偶然でも身体に当たったスイッチや操作レバーから伝わる感触があり、動き出した車椅子等から伝わる振動や揺れがあり、そして周囲からの拍手や歓声が聴こえてくる…。このようなことが循環していき、

遊びリテーションを実現できる一つの方法として、最近、ちょっとおもしろい訓練機器を寄付して頂いたので紹介します。

「スパイダー」

つばさ静岡 理学療法士 島田賢一  
導入のきっかけ

つばさ静岡に入所している方の多くは、定額・座位・立位、四つ這い、歩行など重力に抗する姿勢や運動が難しいです。姿勢を保てない、上手く動かすことができないなど、自分の気持ちや思い通り運動が行えないのです。そのため私たちは、それらを難しくしている原因の「重力」を取り除き、一人一人が持っている力を引き出してあげたいと考えています。訓練の中では、私たちの手によって重力を取り除き、目的とする姿勢・運動を行うことがありますが、それは、座らせられている「動かされている」という要素が強いのです。自分の力で出来たと思わせる要素が、自ら動かこうとする意欲の原動力となり、持っている力を引き出せると考えています。その理由から「スパイダー」と呼ばれる遊びリテーション機器を導入することになりました。

スパイダーとは・・・  
スパイダーは、身体から外に向かつて張られたゴム紐が、蜘蛛の巣のように見

「もつとやりたい」という気持ちが自然と湧き出てくることだと思います。

この循環の大切なポイントは、脳に伝わる感覚刺激です。①手や足などの身体の皮膚や筋肉から伝わるスイッチの感覚（触覚・固有受容覚）、②耳から聴こえる音や声（聴覚）、③動いた車椅子の揺れ（前庭覚）、④車椅子が動いて変化する景色（視覚）。特に重症心身障害を持つた方達は、散歩が好きという方が多いと感じるのは、このように「移動する」ということで本当に多くの感覚が脳に伝わるためだと思います。感覚刺激は脳の栄養であると感じています。感覚刺激は脳の栄養では言われています。「遊びリテーション」は感覚刺激を取り入れることで、脳の栄養であり、同時に心を満たす心の栄養でもあると思います。

私たちつばさ静岡では、これからも利用者さんや彼らに関わる方達も一緒にワクワクするような体験を通して楽しみながら身体を動かす「遊びリテーション」を沢山考えていきたいと思えます。



えるところからついた名前です。その構造は、身体に装着する留め具付きベルトと弾力性のあるゴム紐、それを固定するための支柱または枠から成り立っています。ゴム紐をかける位置によって、個々の機能に合わせた重力のかかり方を設定することが可能です。

スパイダーの効果

スパイダーを用いることで、重力によって制限されていた、姿勢を保つ、身体を動かすといった機能を引き出す手助けが出来ます。それにより、姿勢が崩れないように保つことができ、今まで以上に動きがスムーズになったり、今まで見たことのない動きを見せてくれたり、一人一人違った変化を見せてくれます。動くことで、普段使えていない筋肉を使い、重力に負けない身体を作り、動きの種類や効率の良い運動の学習に繋がることもあります。また、自ら動くことで感じる達成感、満足感、楽しさは、利用者さんの自信に繋がり、心の発達や日々の生活ではなかなか感じられない気持ちをもちました。その気持ちは、さらに動かそうという原動力になります。それが私たちの考える遊びリテーションで、その繰り返しで心身の発達や、機能の維持あるいは改善に繋がっていきます。

事例

以前は、自分で床から起き上がって座るなど、ある程度の動きが出来ていた方が、年齢を重ねるにつれ、その動きが出